

上場会社名 東洋機械金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 片山 三太郎
 (コード番号 6210)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 増田 博明
 (TEL 078-942-2345)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月28日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,400	158	178	152	7.37
今回発表予想(B)	8,800	330	330	300	14.55
増減額(B-A)	400	172	152	148	
増減率(%)	4.8%	108.9%	85.4%	97.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,371	△ 1,421	△ 1,326	△ 1,321	△ 64.09

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	328	378	342	16.59
今回発表予想(B)	17,200	470	480	440	21.34
増減額(B-A)	1,200	142	102	98	
増減率(%)	7.5%	43.3%	27.0%	28.7%	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	10,684	△ 2,267	△ 2,132	△ 2,121	△ 102.91

修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、中国及び南アジア市場におけるIT・電子機器に使用される高性能部品向け射出成形機やダイカストマシンの需要が増加し、また自動車関連につきましてもアジアを中心に需要が回復し、さらには医療機器や生活関連用品での受注が堅調に推移したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は増加するとともに、損益についても改善する見通しです。

通期の見通しについては第3四半期以降も円高の影響や各国景気の先行き不透明、国内経済対策の期限切れの影響等が予想され、先行きは依然厳しい状況ではありますが、受注拡大およびコスト削減施策等の取組みを継続して推進してまいります。これらの取組みを踏まえ、通期の連結業績予想についても修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在における将来の見通し、計画の前提となる予測が含まれております。実際の業績は、今後の様々な不確定要因によって記載と異なる可能性があります。

以上